日本工業大学

建築学部 建築学科
生活環境デザインコース

教授 勝木（かつき） 祐仁（ゆうじ）

生活環境の歴史・まちづくり
・多職種連携教育

身のまわりの生活環境のあり方について歴史的視点から批評的に捉えなおすとともに、その再構築（リ・デザイン）の手立てを探っています。

略歴

大学院生時代、社会史的観点を含む都市・建築史の研究に着手。日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、2008年に日本工業大学着任。2014年以降、4大学連携「彩の国連携力育成プロジェクト」を担当。

所属学会

日本建築学会
日本生活学会
日本保健医療福祉連携教育学会

研究紹介

生活環境のリ・デザインに向けた研究・多職種連携教育（IPE）プログラム開発

100年ほど前から少しずつ、そして第２次世界大戦以降急速に、私たちの生活環境は数多くの施設で成り立つようになっていきました。医療は医療施設、福祉は福祉施設、教育は教育施設で行われるのが当たり前になっています。

効率性・専門性という点からメリットが大きい一方、人と人が暮らしの中で自然に関わり合い、支え合い、学び合う関係が阻害されてきたのも事実です。

そのような問題意識を起点に、私たちの身のまわりの生活環境のあり方を社会史・生活史の視点を交えて、批評的に捉える歴史的な研究を行っています。

また、歴史的な研究で得た認識を基盤として、まちづくりに関する取り組みや、医療・福祉系の大学との共同による多職種連携教育（彩の国連携力育成プロジェクト）に携わることで、人と人、人と地域が自然に関わり合い、ケアし合う場へと生活環境を再構築する手立てを探っています。

その一環として、近年は、地域における場所の記憶を再生し、共有するプロジェクトに力を入れています。

「まちをアルバムにする」展示風景

彩の国連携力育成プロジェクト
4大学連携「IPW実習」の様子

地域連携プロジェクトの事例

- 高齢者施設の共用空間のリニューアルに向けた職員・学生協働によるワークショップ
- 認知症当事者と家族が暮らしやすいまちづくり
- 「まちをアルバムにする」：各家庭に残る思い出の写真を発掘・展示する地域の写真展

主な著作・研究発表

「『進修館をアルバムにする』（2020)実施報告―建築に流れた時間と記憶を再生させる写真展示と動画制作―」（日本生活学会 第48回研究大会、2021）

『新しいＩＰＷを学ぶ～利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携』（共著、中央法規、2022）